

令和5年2月15日
各務原西高等学校長

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立各務原西高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年1月30日(月) 13:30~15:00
※会議に先立ち、授業参観を実施。
- 3 開催場所 各務原西高等学校会議室
- 4 参加者

| | | |
|-------|-------|---------------|
| 会 長 | 長谷川哲也 | 岐阜大学教育学部准教授 |
| 副会長 | 杉山 淳子 | 臨床心理士 |
| 委 員 | 今尾 圭一 | 十六銀行各務原支店長 |
| | 古田 希雄 | 各務原市役所商工振興課課長 |
| | 遠藤 正彦 | 各務原市自治会行政協力員 |
| | 黒田 晴代 | 第14回卒業生 |
| | 堀 登司仁 | P T A会長 |
| | 田中 幸子 | P T A副会長 |
| 学 校 側 | 増田 泰志 | 校長 |
| | 高野 圭 | 教頭 |
| | 高井 正明 | 事務長 |
| | 谷藤 寛三 | 教務主任 |
| | 向井 好美 | 生徒指導部長 |
| | 長谷川 寛 | 進路指導部長 |
| | 林 えり | 特別活動部長 |
| | 原 和幸 | 教務副主任(記録) |

5 会議の概要

(1) 今年度の取り組みと課題について

ア 教務部より

- ・授業の配信は急な欠席にも対応できるようになった。新課程での新しい評価方法の基準作りを進めてきたが、来年度はさらに研究・改善を深めていきたい。

イ 生徒指導部より

- ・規範意識や規律といったことを身につけることが目標の一つになっているが、新型コロナの影響で指導することが難しくなっていると感じている。例えば、遅刻については今年度増加しているのだが、新型コロナの対応で指導がしづらくなってきた。理由については頭痛・腹痛というのが増えており、新型コロナの影響なのか携帯・ゲームなどで夜遅くまで起きていて生活リズムが崩れているからなのかわからない。集会形式で全員の顔を見ながらの指導も行えず、統一した空気感が作れていないことでも指導の難しさを感じる。

ウ 進路指導部より

- ・一人一人の自立を支援し、キャリア形成のきっかけとなる活動を意識的に行ってきた。今年度、進学指導重点校事業の対象校にあたり、教員向けの研修会を行い充実した研修を行うことができた。来年度も対象校であるので、継続するとともに現1年次から新課程入試に変化することから、研究を進めていきたい。

(2) 委員からの提言・意見・要望等

意見1：授業参観について、熱心に授業を受けている。前回までの授業参観でも感じたので、学校全体がそういう校風になっているということで素晴らしい。先生方の日々の指導の成果であると思う。また、社会人講話の中で証券会社として、金融リテラシーを高めてもらいたいということで講話をした。みんな興味を持って話を聞いており、面白かったという意見であった。まだ高校生だから必要ないのではないかということはなく、生徒にも一人の人間として接することが大切だと思った。

意見2：学校らしさを生徒が感じられるように学校行事を工夫して行えたのは良かった。授業参観では、学び方や教え方のICT化が進んだと感じた。オンラインの授業も配信されており、コロナ渦での対応は大変であったと思うが、最低限の環境の整備も進んで結果的に良かった。学校長が明確な目標を示されており、各分掌がそれぞれ評価・課題を示されており、今後の課題について改善の努力をいただければよい。

意見3：生徒指導部の話の中で、体調不良の原因がコロナ渦でじわじわと何となく体調不良になっている生徒もいると思うので難しいと思うが、大変だねと共感するスタンスで対応していただければと思う。教育相談とも協力をしていければと思う。また、進路指導部では、教職や医療の説明会・体験会が行われており、こういった機会は高校生にとっては実際に自分の具体的な目標となるかどうかの判断材料にもなるので素晴らしい活動だと思う。授業参観では、消費者トラブルの授業で自分の意見を紙に書いて張っていたが、中学校ではタブレットに入力して先生のタブレットに送り、全体で共有をしていたのでそういうやり方もできるようになるとよい。

意見4：各分掌の目標に対する達成度と評価について、先生方が現状を真摯に受け止められて評価をされているのが読み取れ、素晴らしいことだと思う。ぜひ、改善に向けて頑張ってもらいたい。授業参観では、午後からの授業で眠たくなるものだが、生徒の学習しようという意欲がみられて素晴らしかった。

意見5：各務原西高校でスクールカウンセラーを担当させてもらっているが、カウンセリングではネガティブなことを話す生徒が、本日の授業参観の中では楽しそうにしている別の

一面が見られてよかった。アンケートについては、教育相談について先生方が生徒に対して丁寧な対応をされているのが表れている結果だと思う。

意見6：授業参観において、先生が黒板に書いて生徒が写すという従来の授業スタイルから、ICTを利用することで生徒はいろんな情報を得られ先生は黒板に書く労力と時間を省き、より効率の良い授業スタイルになりとても良いと思う。

意見7：教室が温かくて安心した。リモートできる環境がありコロナ渦に対応できている。ホワイトボードも見やすい。消費者教育の授業では、グループで学習しており授業形態も変化していることを感じられた。

意見8：自己評価について、教務部では、先生方の工夫によって配信などもされており良かった。業務量の低減の達成度が2ということについては、先生方が頑張っておられるということでありがたいと感じるが、やはり大変だと思うので何とかして減らしていただけたらと思う。生徒指導部では、遅刻の生徒一人一人の話を聞くのは難しいとは思いますが一人でも学校に来られなくなる生徒が減ればと思う。進路指導部では、インターンシップなどの体験や経験ができるのは必要なことだと思うのでありがたい。授業参観では、生徒が良く集中して受けており日頃の先生方の指導の成果だと思う。親としては一番心配するところなので続けていただければと思う。

意見9：コロナ渦で学校の意義が問われている。学校行事などを工夫して行うことで帰属意識を高める努力をされている。そうなってくると、本来の学校目標に対して先生方には、生徒が社会の中でどう生かされるのかということを見据えながら学力をいかにしてつけさせていくのかが社会で求められていくことになる。進路指導部のキャリア教育は、具体的な職業の教育と探究活動の両輪で力をつけさせており素晴らしいと思う。教務部の自己評価において、探究する姿勢の割合が増えており、この成果が出ているということだと思う。ただ、先生方の負担は増えるので働き方の改善も必要であるとともに、生徒も両方を頑張るとなると疲れてくることも考えられるので、そういった面でのケアも考えていただければと思う。

3 会議のまとめ

- ・出席された全委員より意見・要望をお寄せいただき、今後の学校運営の方向性や改善点についての有益な情報を得られた。
- ・全委員より現在の本校の学校運営について肯定的評価が得られた。